

国際協力の現場を語る

JICA（ジャイカ：国際協力機構）は、開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア（40歳～69歳）を途上国に「シニア海外ボランティア」として派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違ったいろいろな体験をしています。そんな話題も含めて体験を語って頂きます。

日 時：毎月第3水曜日 15時30分～17時30分
 会 場：JICA 横浜 会議室またはセミナールームなど
 会 費：無料（どなたでも自由に参加出来ます）
 主 催：NPO「シニアボランティア経験を活かす会」
 後 援：JICA 横浜

（やむを得ず日時・会場が変更される場合があります。事前にシニアボランティア経験を活かす会ホームページまたは下記問い合わせ先に確認して下さい）

問合せ先：

横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜3階 国際協力連絡室内

シニアボランティア経験を活かす会 神奈川分科会

Fax:045-663-3263 担当：白井道雄（045-891-5490）

URL jicasvob.com E-mail info@jicasvob.com



第100回記念パネルディスカッション

日時：12月18日（水）15:30～17:30 会場：JICA 横浜4階セミナールーム「かもめ」

毎月第3水曜日15:30から開催してきた体験発表が第100回を迎えます。これまでの発表の中で「印象に残った」「もう一度聞きたい」と言う発表者に再登場して頂きパネルディスカッションを行います。



垣内美恵子（中国）



中瀬洋子（ブラジル）



西田圭介（ヨルダン）



森岡 潔（ザンビア）



司会：野口丞治
（セントルシア）

任国（講師名）	「タイトル」	講演概要
第101回 1月15日 （水） カンボジア （伊藤明子）		「アンコールワットの門前町で農村の教育を考える」 観光開発の盛んな市中心部の発展が目ざましい一方で、赴任先の教育局が管轄する半径50kmの州周辺部では、タイへの出稼ぎやキャッサバ農園の開発などに伴い子供たちの義務教育が徹底できていない現状があった。ヨーロッパや韓国などから多くの援助が入る中で私達にできることは何か考えた2年間について発表します。
第102回 2月19日 （水） チュニジア （村野文男）		「エキゾチックな国チュニジアで体験した環境改善活動」 配属先である国立科学技術院水環境研究所の研究者、大学院生達と議論を重ね、自然環境中の微生物を利用して①廃棄物処分場から浸出する汚水の微生物的処理の可能性を追求する。②有機系廃棄物の農業利用の可能性を追求することの2テーマについて、実験研究を実施することを決めた。各テーマについて、協業の進捗の様子、活動成果などについて報告する。
第103回 3月19日 （水） ブータン （圓谷哲夫）		「幸福な国でのゴミ問題」 国の目標を、国民総生産量（GNP）の経済的な指標でなく国民の幸福量（GNH）と言う物質の豊かさから精神的という今までの価値観とは異なる政策にした国ブータン。 幸福量と首都ティンピー市での政策とは相反する経済の発展に伴い大きな社会問題となってきたゴミとその処理について。